

7 本時の学習

(1) 本時の目標

14-8の計算の仕方について、ブロックの操作を行うことを通して統合的に考えることができる。

(2) 本時の評価規準

14-8の計算の仕方について数の見方(10といくつ)を活用して、既習の学習と同じように考えることができる。

(3) 本時で育成したい資質・能力

自ら意欲的にブロックを動かしたり、ブロックの動かし方を友達に話したりして取り組むことができる。

(4) 本時の学習展開

○教師の発問・児童の活動・反応

問題把握 (5分)

- 14-8はどのように考えると良いですか。
 - ・10と4に分けるといいと思います。
 - ・まとめて引いたらいいと思います。
 - ・昨日と同じように考えるとできると思います。
- 何を使って考えますか。14をどういう風に置きますか。それはどうしてですか。
 - ・ブロックを使うと分かりやすいです。
 - ・10と4に分けます。4から8は引けないので、10から引くと思うからです。

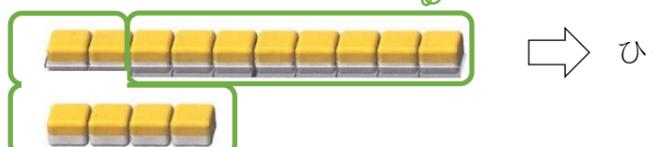
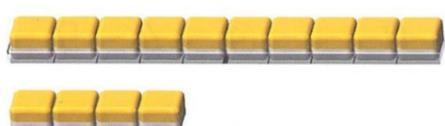
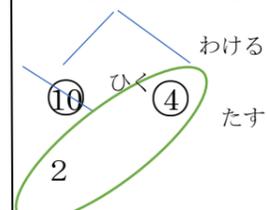
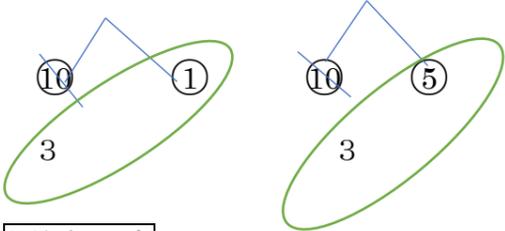
自力思考 (5分)・集団思考 (20分)

- ブロックをどう動かしますか。
 - ・4から8は引けないから、14を10と4に分けます。10から8を引くと2です。2と4で6です。
- ブロックを動かしながら、隣の人に説明しましょう。
 - ・私から言います。…どうですか。分かりました。

- 考え方をみんなで話しましょう。
 - ・ブロックを動かしながら説明します。前の時間と同じように考えます。
 - なぜ10から引くと良いのでしょうか。
 - ・10から引くと、まとめて引くことができるからです。
 - 計算の仕方をノートに書きましょう。
 - ・前と同じようにさくらんぼを書くとも分かりやすいです。

まとめ・振り返り (15分)

- 今日の学習をまとめましょう。
 - ・10と〇に分けて、10から8を引くといいことが分かりました。
 - チャレンジ問題をしましょう。ノートに式と考え方を書きましょう。終わった人からミライシードを開きましょう。
 - 今日の見つけた計算の仕方を使ったら、他にはどんな引き算ができそうですか。
 - ・9や8の計算だけでなく、6や5でもできそうです。

11/18 めあて	ひきざん 14-8のけいさんのしかたを かんがえよう。	みんな まなび	ブロック	まえと おなじように 	まとめ	10と4に わける 10から⑧を ひく ②と4を たす
3	しき $14 - 8 = 6$ 		しき	$14 - 8 = 6$ 	チャレンジ	11-7=4 15-7=8 
ひとり まなび	一つずつかぞえるのは 大へん! ・ブロックを うごかす ・10から まとめて ひく おなじように できないかな?			ばらから ひけないときは 10からひくと けいさんができる	ふり振り返り	ミライシード ・ノートにかくことができました。 ・6や5のひきざんも やってみたいです。

○指導・支援
⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

○前時の問題の式の数字をカードで提示し、本時の問題の式のカードに変更して、本時の問題も前時と同じように考えられないか、解決の見通しをもたせる。
○ICTを活用し、既習事項を大型テレビに提示する。既習事項の掲示を確認し、順序よく説明することを意識させ、ブロック操作を繰り返し行わせる。

○個人思考でブロックを操作する活動を行った後、ペアで説明し合わせることで、繰り返し主体的に説明する場を設定する。
④ 14-8の計算の仕方について数の見方(10といくつ)を活用して、ブロック操作を通して統合的に考えることができる。(ブロック操作・説明)

○意図的指名を行い、「10から引く」「同じように」という言葉を価値付けて評価する。繰り返しブロックを操作しながら説明させる。
○前時と比較し、同じように10からひくとよいことを確認させる。
○自ら意欲的にブロックを動かしたり、ノートに書いたりして取り組むことができる。

○まとめのキーワードを考えさせ、本時のまとめを行う。
○ノートに書き終わった児童は、ミライシードを活用し、計算の仕方の定着を図る。繰り返し練習をさせる。
○次時への見通しをもたせ、9や8以外の減法への意欲を高めさせ、発展的に考えられるようにする。